

FOCUS ACID COLOR

Technical Guide

テクニカルガイド

美しく白髪をカバーし、
自然な色味で褪色する。
つやのある、手触りの良い質感に。



フォーカス アシッドカラー

- レブリン酸(保湿成分)配合
- 21種類の植物美容オイル(毛髪保護・保湿成分)配合
- 海藻エキス※1(毛髪保護・保湿成分)配合
- ヒートリアクションケラチンPPT※2(毛髪補修・保護成分)配合

※1 ヒバマタエキス
※2 (ジヒドロキシメチルシリルプロポキシ)ヒドロキシプロピル加水分解ケラチン(羊毛)

全18色 / 150g

SUNCALL

PROCESS

フォーカス アシッドカラーのプロセス&テクニックポイント

check!

施術前に準備するもの

- グローブ
- ケープ
- コームまたはハケ*
- イヤーカバー
- リムーバー
- 保護クリーム等
- ラップ
- ブロッキング用のヘアクリップ

※ロングの場合は、ハケでの施術をおすすめします。



アシッドカラーは、地肌に付くと色素が落ちにくいので、染める際に注意が必要です。使用時にはグローブを着用し、色素を付けたくない部分は、あらかじめ保護クリーム等を塗るか、ラップで覆っておくことをおすすめします。

○パッチテストは基本的には必要としません。ただし、頭皮に異常がないかご確認いただき、本品の注意事項をよく読んでご使用ください。

Step
01

毛髪診断、カウンセリング

お客様の求める髪色・イメージを伺います。そして、アシッドカラーに対する注意点を伝えます。

※新生部と既染部の明度差が気になる場合は、根元にライトナー等をご使用ください。

その際は、アシッドカラー施術前にフェルエ アシッドウォーターを必ず塗布してください。

Step
02

プレシャンプー&タオルドライ

シャンプーで髪に付着しているスタイリング剤や汚れを落とします。

その後、余分な水分をしっかり取り除きます。

Step
03

フェルエ アシッドウォーター塗布

pHバランスを整えるフェルエ アシッドウォーターを希釈(3~5倍)して、適量を髪全体に塗布します。

フェルエ アシッドウォーター



pH 3.0
(前処理/中間処理/
後処理)

650mL/

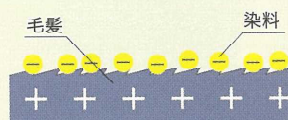
スプレーヤーに入れて
使用する場合は
3~5倍に希釈してください

髪のpHバランスを整える酸リンスです。
アミノコンボジット×18^{※1}(毛髪補修・保湿成分)とCMC
成分^{※2}(毛髪補修成分)が髪の内部に浸透し、補修します。
アシッドカラーの前処理やカーリング料・ストレートヘア
セット料の中間処理等におすすめです。

- 乳酸・クエン酸(pH調整剤)配合
- アクティブケラチン^{※3}(毛髪補修成分)配合
- アミノコンボジット×18(毛髪補修・保湿成分)配合
- CMC成分(毛髪補修成分)配合

※1 毛髪に含まれる18種類のアミノ酸混合物 ※2 セラミド2、コレステロール、ラノリン脂肪酸 ※3 加水分解ケラチン(羊毛)

POINT



アシッドウォーターにより髪をプラス(+)に帯電させることで、マイナス(-)に帯電した染料がより吸着するようになり、色持ちが良くなります。

Step
04

ドライ

余分な水分があると、アシッドカラーを塗布した際に液ダレの原因になるため、ドライヤーで乾かします。

Step
05

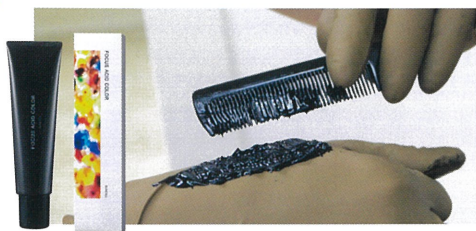
保護クリーム等をヘムラインに塗る

生え際、襟足、耳等、薬液が付きやすい箇所に保護クリーム等を塗布します。

さらに必要に応じてイヤーカバーを着けます。

Step
06

フォーカス アシッドカラーを塗布



グローブをし、手の甲または手のひらに薬液をのせて、コームを押し付けるようにして薬液をコームの歯の間にまんべんなく入れ込みます。

○ロングの場合はハケを使用することをおすすめします



白髪が気になる部分、つむじまたはフロントの分け目から、頭皮に付かないようにムラ無く塗布します。



できるだけ薄めにスライスを取り、コームを根元に入れ、根元から持ち上げるようにして塗布します。

POINT



スライスした毛束に対し垂直にコームを入れて塗布することで薬液が頭皮に付きにくくなります。



寝かせて塗布すると薬液が頭皮に付いてしまう可能性があります。

POINT



アシッドカラーを塗布した髪が地肌につく可能性がある場合は、ヘアクリップ等で留めます。

Step
07

加温

ラップ等をして10分間程度、40℃を目安に加温します。



Step
08

カラーチェック

髪を2〜3本拭きとり、染まりをチェックします。

Step
09

クーリング

熱を逃がすことで染料が定着しやすくなるので、カラーチェック後5分間クーリングします。

Step
10

プレーンリンス

アシッドカラーの色が出なくなるまで、しっかりすすぎます。その際、グローブをして行うことをおすすめします。

Step
11

アフターシャンプー

シャンプーでしっかり洗い流します。地肌に付いた染料は、リムーバー等で落とします。

Step
12

アフタートリートメント

適量のトリートメントをよく髪になじませ、洗い流します。

Step
13

仕上げ

強く摩擦をかけずにドライします。アルコールが多く含まれるスプレーやトニック等は褪色の原因になりますので使用はお控えください。

Q&A

アシッドカラーを使用する際のギモンに

一問一答！

Q 地肌から塗れますか？

A 地肌に付いてしまうと落ちにくいので、地肌に付かないように塗布してください。できるだけ薄めにスライスを取り、毛束に対し垂直にコームを入れて根元から持ち上げるように塗布すると薬液が頭皮に付きにくくなります。

Q 服に付いた場合、落とすことはできますか？

A アシッドカラーが染着すると落ちにくいので、衣服や他の器具に付着しないようにご注意ください。

Q 長さによる使用量の目安は？

A 髪の量にもよりますが、ショートで80g程度が目安となります。

Q 加温は湿熱加温の方が良いですか？

A 湿熱加温は水分を与え、液ダレや染着ムラの原因になるため避けてください。

Q シャンプー前に乳化は必要ですか？

A 乳化を行うと、地肌にアシッドカラーが染着してしまうため必要ありません。

Q アシッドカラーのカラーチェンジはどうしたら良いですか？

A 通常は3~4週間で褪色しますが、フェルエ ケアパックにフェルエ アルギソフナーを組み合わせたものを髪に塗布し、ラップをして加温することで、ある程度色を落とすことができます。

Q ヘアカラー（酸化染毛剤）と混ぜて使用できますか？

A 酸化染毛剤とは混ぜて使用しないでください。

Q パーマとアシッドカラーを同日に施術できますか？

A 同日に施術できます。先にパーマをした後、酸リンスをし、アシッドカラーを施術してください。
A アシッドカラーを先に行うと、褪色や変色する場合があります。

Q アシッドカラーをしたお客様にヘアカラー（酸化染毛剤）をしても大丈夫？

A ヘアカラーをしても問題はありません。ただし、ヘアマニキュアの色が残っている場合は、希望の色に染まらない可能性がありますので、ある程度色を落としてからヘアカラーをすることをおすすめします。

Q ヘナとの違いは何？

A ヘナは植物染料で、ヘナの中に含まれる色素（ローソン）が毛髪のケラチタンパク質にからみつくとで染着します。
また、ヘナの色味はオレンジ系統に限られます。

Q なぜフォーカス アシッドカラーはキシキシ感が少ないのですか？

A クリームベースを採用したことに加え、21種類の植物美容オイル（毛髪保護・保湿成分）をバランス良くブレンドしたPOC21を配合し、うるおいのあるつややかな髪に仕上がるとともにキシキシ感をおさえています。

Q 色持ちはどのくらい？

A 毛髪の状態によりますが、通常は3~4週間程度が目安となります。